

# 全勝でブロック4連覇

## アーチェリー・関東学生リーグ戦 全日本学生王座 決定戦へ進出



▲ ブロック4連覇を成し遂げたメンバー

4月1日から29日まで、関東学生アーチェリーリーグ戦が東洋大学ほかで行われた。専大は5戦全勝でAブロック優勝。ブロック4連覇を果たし、全日本学生王座決定戦(6月23、24日、静岡県ヤマハつま恋りゾー)への切符を手にした。初戦の明学大(3846-3790)、2戦目の東洋大(3882-3787)との試合は大差での勝利となったが、3、4戦目の慶大(3824-3811)、中大(3832-3814)との試合はともに僅差の

試合となり苦しい戦いを強いられた。しかし、最終戦で東海大(3887-3842)を下し、ブロックを制した。(※上数字が専大)

また個人では、5戦中4戦でチームトップのスコアを出した佐藤尚樹(経営2・田村高)が13位、期待の新人・矢野雅貴(経営1・馬頭高)が26位となり、5月に行われる全日本学生東日本選手権の出場権を得た。ここで納得のいく射をみせてほしい。

また、今期から1部の舞台に挑んだ女子は、Aブロックで1勝4敗の4位、昇格初年度を1部残留で終えた。(葛西 千瑛・文2)写真真も)

女子は4位に

### レスリング・JOC杯ジュニア選手権

#### フリー74kg級 グレコローマン66kg級

## 木村、魚住ともに準優勝

JOC杯ジュニアレスリング選手権が4月21、22の両日、横浜文化体育館で行われた。専大からは男子ジュニアの部に12人が出場し、フリースタイル74kg級で木村政貴(経営2・館林高)が昨年より順位を一つ上げて準優勝。また、グレコローマンスタイル66kg級で魚住彰吾(経営1・育英高)が準優勝、近藤達矢(経営3・八幡浜工高)が3位となった。

木村は「組み合わせも良かった」と順当に勝ち進み、決勝戦では第一シードの嶋田(国士大)に僅差で敗れた。「勝てそうない。最低でも決勝進出を目指していたので達成できて良かった。自分はスロースターターなので第一ピリオドに力を発揮できなかった。悔しきない。気持ちを高めて

魚住も2回戦から登場。決勝まで2つのファール勝ちを奪うなど、

第1ピリオドから取っていくのが課題」と力強く語った。

魚住も2回戦から登場。決勝まで2つのファール勝ちを奪うなど、

第1ピリオドから取っていくのが課題」と力強く語った。

魚住も2回戦から登場。決勝まで2つのファール勝ちを奪うなど、



▲ 決勝まで圧倒的な強さを見せた魚住

### フェンシング・剛騎杯選手権

#### 女子サーブル 百崎が2位 男子サーブル 張真が2位

ちも強く思っている。それに貢献できるように頑張りたい」と話した。(葛西)写真も)

また、男子エペで谷口琢弥(ネット情報1・鹿児島南高)が3位、女子フルーレで高橋風子(商1・聖霊女子短大付高)が3位、百崎が5位になる活躍をみせた。

百崎は「フルーレは気負わず楽しく試合に臨めた。サーブルは決勝の相手前回大会の優勝者で、あと1点を逃した。結果に満足していない」

また、男子エペで谷口琢弥(ネット情報1・鹿児島南高)が3位、女子フルーレで高橋風子(商1・聖霊女子短大付高)が3位、百崎が5位になる活躍をみせた。



▶ 男子サーブルで惜しくも2位となった張真

アジャU-23選手権に4選手が出場

アジャU-23フェンシング選手権(6月3〜8日、フィリピン・マニラ)の日本代表選考会が4月30日から5月2日まで、国立スポーツ科学セ

ンターで行われた。男子サーブルで谷口舜太郎(法3・鹿児島南高)が2位、女子フルーレで鈴木莉奈(商2・聖霊女子短大付高)が3位、高橋が4位、女子サーブルで竹田悠里(経営4・米沢東高)が4位となり、出場権を獲得した。(大嶋 輝・文2)



#### アーチェリー部

▽全日本学生東日本大会

5月19、20日(ベルサンピアみやぎ泉中央)

▽アメリカンフットボール部

▽川崎ボウル(対東北)

5月20日(川崎球場)

▽居合道部

▽演武会

5月27日(学習院大)

▽剣道部

▽関東女子学生選手権

(女子)

5月19日(日本武道館)

▽ゴルフ部

▽関東大学春季ABブロックリーグ戦(男子)

5月21〜25日(こだまゴルフクラブ)

▽自動車部

▽全関東学生ジムカーナ選手権

5月20日(フジスピードウェイ)

◇馬術部

◇東京都馬術大会

5月19、20日(JRA馬事公苑)

▽全日本ヤング総合馬術大会

5月25〜27日(同右)

# 専大スポーツ

No.314

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ スポーツからアクセスしてください  
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/) 大会結果を配信しています



▲ 昨年より一つ順位を上げた木村

### 馬術・東都学生大会

#### 学生 坂口・フィロソファー号が2連覇 団体でも3位に

4月14日、東京都のJRA馬事公苑で東都学生馬術大会が行われ、学生賞典馬場馬術競技個人で坂口智康(経営4・八女工高)とフィロソファー号が2連覇を果たし、同団体で3位となった。またがプレッシャーに負けず、団体総合でも3位に入賞した。

一方、13日に行われた東都学生トーナメントでは優秀選手賞を受賞した植田俊輔(商4・倉敷鷲羽高)らが健闘し、準優勝。

坂口は「土砂降りとい

う天候のために馬場のコンディションは最悪だった。馬の調子も病み上がりで良くなかったが、頑張ってくれた」と話し、「前回は100点とすれど今回は50点。優勝はしなかったがプレッシャーに負けず、自分でも納得のいかない騎乗をしてしまった。今回の経験を糧に、全日本学生と三天馬術大会で全力を出し切りたい」と闘志と意気込みをみせた。(大嶋)

都合により  
写真は掲載  
いたしません

▲ 2連覇を果たした坂口とフィロソファー号(写真は、全日本学生賞典のもの)